

■ ツツガムシ病研究の先駆者^{せんくしゃ}

田中 敬助

たなか けいすけ

出身地 湯沢市

1862年（文久2年）～1945年（昭和20年）

東京帝国大学医科大学を卒業。^{ていこく}故郷^{こきょう}の湯沢市に私設の研究所を建て、ツツガムシ病の研究に一生を捧げた。その成果は、中央の研究者にも大きな影響^{えいきょう}を与えた。^{あた}



年 譜

- 1862年 湯沢市に生まれる。
- 1888年 ^{ていこく}帝国大学医科大学卒業。
- 1889年 ^{ききょう}帰郷。^{じたく}自宅で医院を開業する。
- 1890年 ^{けんにん}公立横手病院長兼任。自宅に「日本沙蠱病研究所」^{ツツガムシびょう}を建て、ツツガムシ病の研究に当たる。
- 1892年 論文「日本洪水熱病原研究第一回報告」^{こうずいねつ}を発表。
ダニが病気を媒介^{ばいかい}することを指摘^{し て き}する。
- 1913年 「日本沙蠱病^{ツツガムシびょう}の研究報告」で医学博士となる。
- 1945年 ^{ぼつ}湯沢市で没。^{さい}82歳。